

産婦人科専門研修プログラム

千葉の力を結集して、産婦人科専門医を育てます！

千葉大学医学部附属病院を基幹病院とし、さらに千葉県内を中心とした31の主要な病院が参加しています。

「千葉の力を結集」して、新しい時代の産婦人科医療を担う人材を育てます。

受入れ人数：20名

選考方法：書類選考、面接

■ プログラムの“ここがポイント”

＜多彩な特色をもった連携施設での研修＞

- ・多様なニーズの専攻医を受け入れます。

＜充実した研修体制＞

1. 自らの研修成果を評価して、個々の研修プランを調整します。
2. スムースにサブスペシャルティ研修に移行できます。
3. リサーチマインドを養い育てます。

(希望者は、研修中に大学院に進学することができます)

安心して十分な研修ができるように、指導医がサポートします。

プログラム責任者と研修医が相談しながら、研修先を決定する自由度の高いプログラムです。

■ プログラムの内容

基幹施設・連携施設で研修を行います。

* 詳細は裏面

■ 専門研修期間：3年

■ 研修連携施設：31施設

■ プログラム責任者 甲賀かをり

■ 研修プログラムに関するお問合せ先

千葉大学産婦人科
専攻医研修制度担当
医局長 長澤 亜希子
TEL: 043-226-2121
e-mail: sanfujinka@office.chiba-u.jp

お気軽に
お問合せください！

連携施設

君津中央病院、帝京大学ちば総合医療センター、松戸市立総合医療センター、千葉医療センター、船橋中央病院、千葉市立海浜病院、順天堂大学医学部附属浦安病院、旭中央病院、千葉市立青葉病院、千葉県がんセンター、千葉徳洲会病院、千葉メディカルセンター、東京歯科大学市川総合病院、東京女子医科大学八千代医療センター、東邦大学医療センター佐倉病院、成田赤十字病院、日本医科大学千葉北総病院、東京ベイ・浦安市川医療センター、くぼのやウィメンズホスピタル、小張総合病院、沼津市立病院、国際医療福祉大学成田病院、獨協医科大学病院、東大病院、都立墨東病院

連携施設（地域）

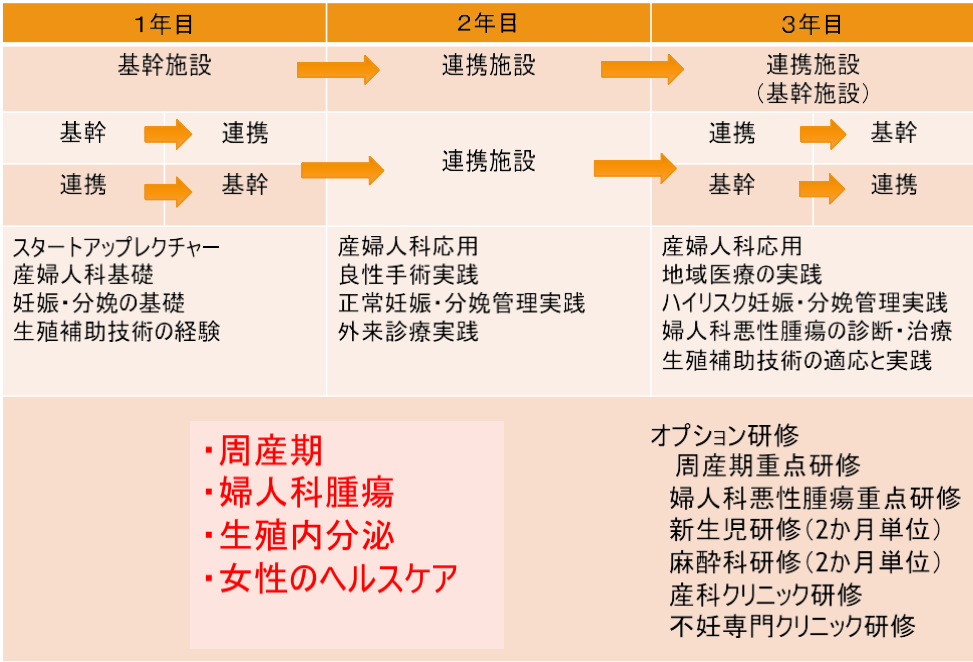
千葉ろうさい病院、船橋二和病院

連携施設（地域-生殖）

加藤レディスクリニック、新橋夢クリニック

千葉大学病院 総合医療教育研修センターHP
<https://www.ho.chiba-u.ac.jp/chibauniv-resident/>

千葉大学病院 見学のお申込み
<https://www.ho.chiba-u.ac.jp/chibauniv-resident/visit/index.html>



- * 3年目は経験症例数により、希望によりオプション研修を行うことができます
以下の③-⑥の研修は基幹施設研修中に短期研修で可能です
①周産期重点研修(6ヶ月単位)②婦人科悪性腫瘍重点研修(6ヶ月単位)
③新生児研修④麻酔研修⑤産科クリニック研修⑥不妊クリニック研修

*** 育児・介護などで休職や研修に時間を十分とれない場合**

産休・育休・病休により一時的に職場を離れた場合や、子育てのために研修に十分時間がとれない場合(男性医師も含む)は復職や研修の支援を行います。育児支援では、院内保育の可能な病院を中心に、日勤帯を基本とした研修プログラムを個々の専攻医の希望に合わせて作成します。専門医プログラムの研修期間は、3年が基本ですが、研修進捗状況に合わせて延長も可能です。

2025年度 産婦人科専攻医 募集について

- ①千葉大学産婦人科医局長への申し込み
②千葉大学病院専攻医プログラムへの応募
③日本専門医機構(日本産科婦人科学会)の専攻医登録システムへの登録
が必要となります。

- ①千葉大学産婦人科医局長への申し込み(E-mail)
産婦人科医局長 連絡先: sanfujinka@office.chiba-u.jp Tel: 043-226-2121
締め切り **2024年7月31日** * 特段の事情がある場合は、ご相談ください。

- ②千葉大学病院専攻医プログラムへの応募
2025年度の千葉大学病院専攻医プログラム募集要項は
7月中旬頃総合医療教育係のHPIに掲載予定です。

千葉大学病院専攻医プログラムに関する連絡先
千葉大学医学部附属病院 総務課 総合医療教育係
〒260-8677 千葉市中央区亥鼻1-8-1 電話: 043-222-7171(代表)(内線 6012、6013)
メール: byoin-kenshuu@office.chiba-u.jp

- ③日本専門医機構 専攻医登録及びプログラム申込み
日本専門医機構「専攻医登録システム」への登録開始後、登録が必要です。